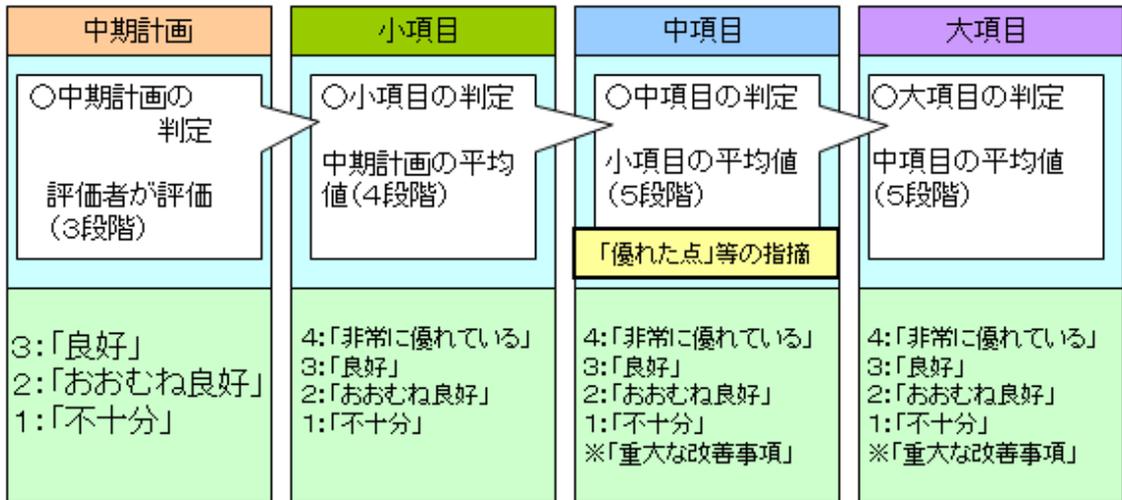


中期目標の達成状況評価の段階判定について

(中期計画数の減少に伴う段階判定区分の変更)

1. 第1期中期目標期間の評価方法



メリット

- ・ ひとつの計画の判断によって、判定が大きく揺れ動くことを防ぐ。
- ・ 判定の透明性を高める。
- ・ 評価の簡略化（計画を判定すればほぼ自動的に中期目標の判定が導き出される。）

デメリット

- ・ 計画数の多少が、小項目の判定に影響する。
- ・ 小項目に対応する中期計画が1つの場合、中期計画が「良好」判定となると、小項目の判定結果が自動的に1段階上の「非常に優れている」の判定になってしまうことから、この場合においては、評価者が小項目の判定を「良好」か「非常に優れている」のどちらかを判断することとなる。
- ・ 目標の判定が機械的に計算され、判定結果と評価者が全体的に感じる印象が乖離

【通常の積み上げによる算定】

中期計画が2つあり、判定が「良好」と「おおむね良好」のケース

- ・ 中期計画 「良好」
 - ・ 中期計画 「おおむね良好」
- } → 平均点から、小項目「良好」

【小項目に対応する計画が1つのケース】

中期計画が1つであり、判定が「良好」のケース

- ・ 中期計画 「良好」 → 小項目「非常に優れている」

⇒ 評価者が小項目の判定を 「良好」か「非常に優れている」 のどちらかを判断

2. 第2期中期目標期間の評価方法

考慮すべき事項

- ① 中期目標・中期計画の作成段階において、目標・計画数の上限が定まり、各中期計画の重要度が増した。
 - 中期目標・中期計画の項目数の減少（小項目は41%減、中期計画は65%減）により、各中期計画の重みが増。
- ② 成果を重視する評価方法（小項目を構成する中期計画が1つの場合、「優れた成果」の判断基準を明確化するよう検討）。
 - 小項目に対応する中期計画が1つのケースが23%→36%に増。

変更（案）

- ・ 中期計画の判定を4段階とし、中期計画の成果をより重視した判定とするケース。
- ・ この場合、小項目に対応する中期計画が1つの場合の判断基準を規則化できる。

中期計画	小項目	中項目	大項目
○中期計画の判定 評価者が評価 (4段階)	○小項目の判定 中期計画の平均 値(4段階)	○中項目の判定 小項目の平均値 (5段階)	○大項目の判定 中項目の平均値 (5段階)
		「優れた点」等の指摘	
4:「非常に優れている」 3:「良好」 2:「おおむね良好」 1:「不十分」	4:「非常に優れている」 3:「良好」 2:「おおむね良好」 1:「不十分」	4:「非常に優れている」 3:「良好」 2:「おおむね良好」 1:「不十分」 ※「重大な改善事項」	4:「非常に優れている」 3:「良好」 2:「おおむね良好」 1:「不十分」 ※「重大な改善事項」

《段階判定区分表（案）》

中期計画の判定	判断の際の考え方
非常に優れている	取組や活動、成果の状況からみて、実施状況が非常に優れていると判断される場合 ※ 第2期中期目標期間の取組や活動の状況からみて、当該中期計画が極めて着実に実施され、教育・研究の質の向上の点から 特筆すべき成果 が得られている場合を指す。「質の向上」には、高い質（水準）を維持していることも含む。以下同じ） ※ 計画通り取組や活動がなされていたとしても、それが機能した結果としての、質の向上の点からみた特筆すべき成果が明らかになっていない場合にはここには含まない。
良好である	取組や活動、成果の状況からみて、実施状況が良好であると判断される場合 ※ 第2期中期目標期間の取組や活動の状況からみて、当該中期計画が着実に実施され、教育・研究の質の向上の点から 優れた成果 が得られている場合を指す。 ※ 計画通り取組や活動がなされていたとしても、それが機能した結果としての、質の向上の点からみた優れた成果が明らかになっていない場合にはここには含まない。
おおむね良好である【標準】	取組や活動、成果の状況からみて、実施状況がおおむね良好であると判断される場合 ※ 第2期中期目標期間の取組や活動の状況からみて、当該中期計画が着実に実施され、教育・研究の質の向上の点から 相応の成果 が得られている場合を指す。この段階が、 標準的な段階 に相当する。 ※ たとえ計画を早期に完了していたり、計画以上の取組や活動を実施していたとしても、それによって、教育・研究の質の向上の点から優れた成果が得られたことが明らかではない場合は、これに該当する。
不十分である	取組や活動、成果の状況からみて、実施状況が不十分であると判断される場合 ※ 第2期中期目標期間の取組や活動の状況からみて、当該中期計画が 十分に実施されていない 場合を指す。